

2019年度事業計画

磨き 輝き 集うまち 燕

【趣 旨】

これまでも実施してきた「つばめ桜まつり」「酒吞童子行列」の観光イベントの継続実施による賑わいづくり、さらに産業観光の受入れ体制の構築・強化を促進させるとともに、リニューアル工事が完了した「燕市産業史料館」への事務所に移転し、窓口による入館者受付・観光案内を行い、来訪者の満足度の向上、リピーターの増加に努めていきます。

ウェブサイトにおいても、リニューアルから2年経過した中で、年々増加している各種申込や問合せフォームなどをさらに充実させ、より一層の情報発信と問合せの簡素化を図っていきます。

法人化4年目を迎え、観光協会の役割を着実に果たすよう、引き続き取り組んでいきます。

1. 観光イベント開催事業

15,505,000円

(1) つばめ桜まつり

(事業費 12,250,000円)

「春は桜で燕を結び、地域で楽しみ、地域でつくる様々なイベントやPR活動をとおり、燕の良さを広く伝え、受け継ぐ」という事業目的のもと、77回目を数える「分水おいらん道中」をメインイベントと位置付け、期間中には、桜フェスイベントや夜桜ライトアップなども行い、燕市全域から広く協力・参画・参加を募り、多くの地域の手で、家族3世代で楽しめるイベントやPR活動を実施します。また、期間中には、県内外、国内外から目標10万人のお客様をお迎えし、広い世代と地域の方々が楽しめる各種催しを、安全かつ円滑に実施します。

そのために、実行委員会・運営委員会組織の充実を図ると共に、関係機関・団体各位と連携し、大河津分水や燕の良さを広く伝える取り組みの積極的な計画・実施を進めます。

また、観桜客の安全な誘致を第一に考え、関係各位と連携して対応に尽力します。

◎つばめ桜まつり 4月 7日(日)～21日(日)

- ・吉田ふれあい広場 さくらフェス 4月13日(土)
- ・燕市交通公園&こどもの森 さくらフェス 4月14日(日)
- ・第77回分水おいらん道中 4月21日(日)

(2) 酒呑童子行列

(事業費 3,255,000円)

「郷土に残る魅力的な鬼の伝説を基に、国上山周辺の観光資源を、地域の力でつくり楽しむイベントやPR活動をとoshi、広く市内外にPRする」という事業目的のもと、「酒呑童子」伝説にまつわるイベントコンセプトを分かりやすく伝える、インパクトのあるキャラクター像を設定し、実行委員会・運営委員会組織をはじめ、関係機関・団体と連携して、子どもや若者向けのイベントやPR活動を計画実施すると共に、各種取り組みには市内外・県内外から目標延べ1万人のお客様をお迎えできるよう、広い世代と地域への広報・誘客活動を展開します。

9月最終日曜日に開催するイベント当日は、燕市全域から広く協力・参画・参加を募り、多くの地域の手で、誰もが参加しやすい形態や参加・観覧したいと思える非日常の演出を実施し、会場全体が感動や一体感を得られる仕組みをつくり、家族3世代で楽しめるイベントを、関係各位と連携して、安全かつ円滑に実施します。

◎第15回酒呑童子行列 9月29日(日)

2. 観光プロモーション事業

1,500,000円

(1) 観光プロモーション事業

(事業費:1,500,000円)

燕の魅力情報を発信していくためのツールであるパンフレット類の作成や増刷、各種媒体等への広告掲載、公共施設等への告知展開、各種イベント出展などによるPR活動を展開し、燕市の知名度向上と誘客促進を行うと共に関係団体との連携も図ります。

また、効果的な情報発信ができるよう、マーケティング調査も推進していきます。

3. 受託事業

16,265,309円

(1) つばめ「おもてなし力」アップ事業

(事業費:7,000,000円)

本事業開始より5年目を迎え、産業観光のマニュアル化や受入体制の整備をより充実させることと、「観光ナビゲーター」による企業視察のコースの提案、オペレーションや、来訪者への魅力発信を引き続き実施し、満足度の向上・リピーターの増加に努めます。

また、地域の観光ボランティアガイド団体等への活動支援による観光地のホスピタ

リティの向上を目指します。

(2) つばめ情報発信戦略事業 (事業費：1,000,000円)

昨年リニューアルした協会ホームページを実施運用している中、より充実させるために改修や情報の追加等を積極的に取り組んでいきます。

また、イベントなど各種の申し込みや問い合わせに対するメールフォームを増設することでウェブサイトの活用を強化するとともに迷惑メールやフィッシングメールを防ぐ対策を行います。

(3) 燕市産業史料館企画運営事業 (事業費：8,265,309円)

燕市産業史料館内に当協会事務所を移転して、産業観光の拠点と位置付けた取り組みを燕市と連携して行います。

窓口による入館者の受付や観光案内を始め、企画展等の運営をとおして、交流人口の拡大やリピーターの増加を図ります。

4. 観光資源活用事業

566,000円

(1) 産業観光体験開催事業 (事業費：315,000円)

リニューアル工事が完了した産業史料館の新施設「体験工房館」にて開催します。新たなアクセサリーづくり体験も含め、産業体験全体で17回開催します。

- ・小皿づくり体験 年間9回開催
- ・アクセサリーづくり体験 年間1回開催
- ・木の葉箸置きづくり・ブックマーク&キーホルダーづくり彫金体験 年間7回開催

(2) 他団体支援事業 (事業費：186,000円)

例年同様に、木場小路萬燈組と横町萬燈保存会が取り組んでいる、地域の歴史ある伝統行事「萬燈」や「吉田天満宮」の広報ポスター制作の支援、新潟県指定天然記念物である八王寺安了寺の大白藤の保存活動に取り組んでいる、八王寺大白藤保勝会を支援するとともに、ウェブサイトなどでも情報発信をします。

(3) 国上山山開き事業 (事業費：10,000円)

良寛さまが晩年を過ごした「五合庵」や「乙子神社草庵」、また越後最古の名刹「国上寺」等、数多くの史跡や草花が残る国上山の山開きを山野草の開花シーズンに合わ

せて、実施します。

◎2020年 山開き 3月22日(日)

(4) まちあるき事業

(事業費：55,000円)

地域観光の基本でもある「まちあるき」に改めて着目し、テーマやストーリー性のあるコースを作成します。現状実施しているガイド有りの「燕三条まちあるき」との連携に加えて、ガイドなしでもマップ片手にまわれるコースの作成を検討します。

燕市観光協会運営費

31,364,571円

(1) 運営体制

燕市産業史料館の運営等にかかる業務量の増加や多様化により、協会職員を増員しての対応を図ります。年々増加している市内企業の団体視察等にも万全の対応で、来訪者に「笑顔」と「満足」を提供できるよう万全の対応で取り組むことで、リピーターの確保や市内の消費拡大にもつなげていきます。

なお、各種経費の増加も見込まれる中、引き続き経費削減にも努めます。

【参考】

協会が連携している団体組織等

1. 燕・弥彦広域観光連携会議（燕市・弥彦村）
2. 県央地域観光振興会議（県振興局・JR・周辺市町村・経営大学）
3. 燕三条ブランド推進会議（地場産センター他）
4. 新潟県MICE研究協議会（新潟県他）
5. 中越文化・観光産業支援機構（長岡市他）
6. JTB関東交流文化誘致協議会（JTB他）
7. 東北観光推進機構（東北6県・JR他）